

# ユーカリ殖産自治会についての アンケート調査結果及び分析報告

2026.2.28

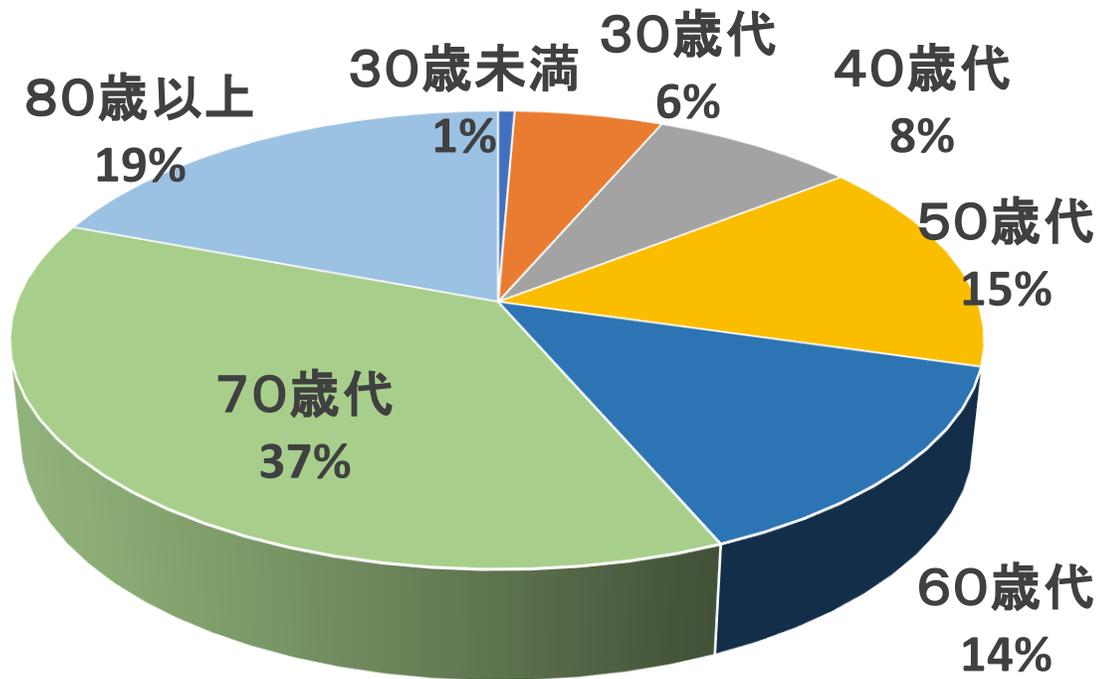
ユーカリ殖産自治会  
会長 大橋 圭二

# 調査方法

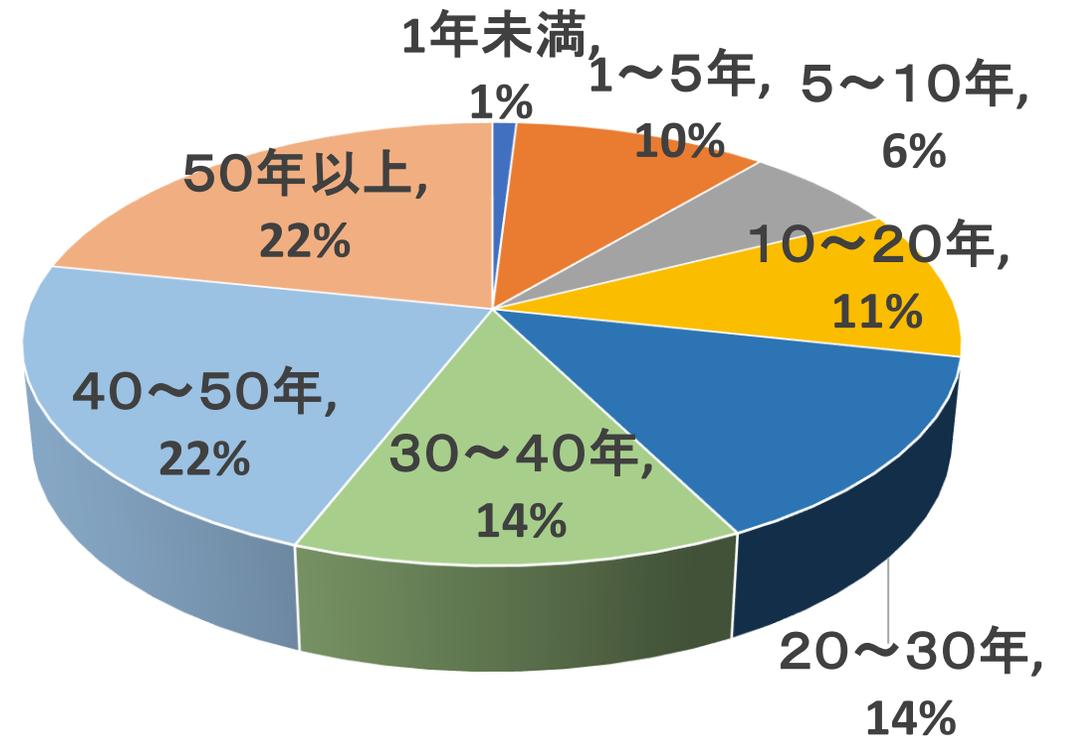
ユークリ殖産自治会についてのアンケート調査(5月17日)の回答数328人(回収率60%)の質問1～10についての回答結果及び分析結果を報告する。

# 回答者の属性

## 質問1 年齢

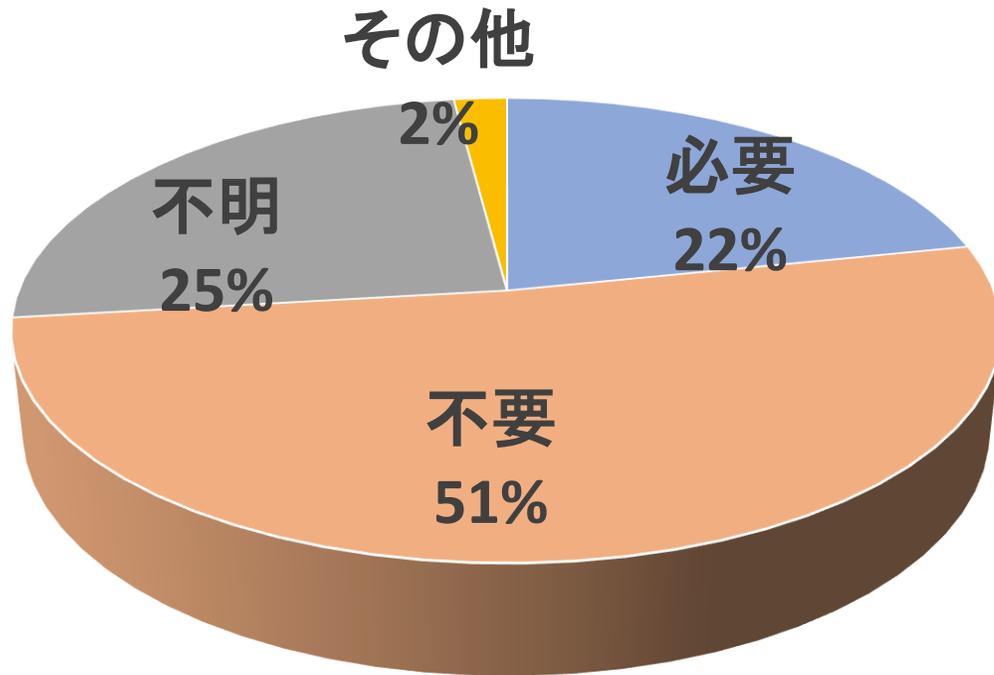


## 質問2 居住年数

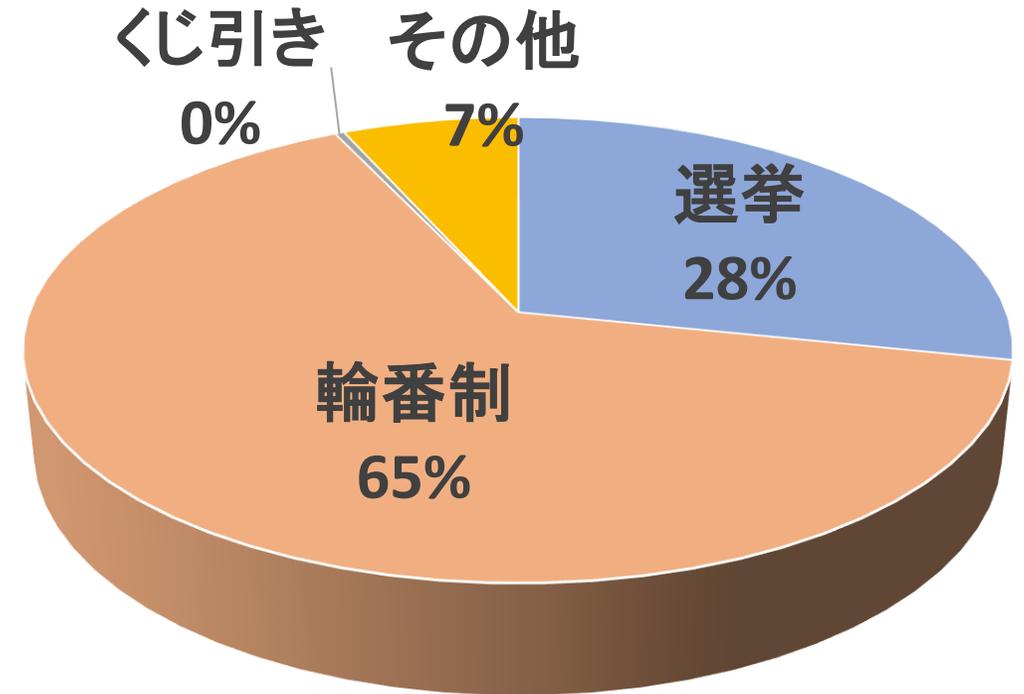


# 自治治会役員を選出方法について

問2-1 役員を選出方法の見直しは必要か？

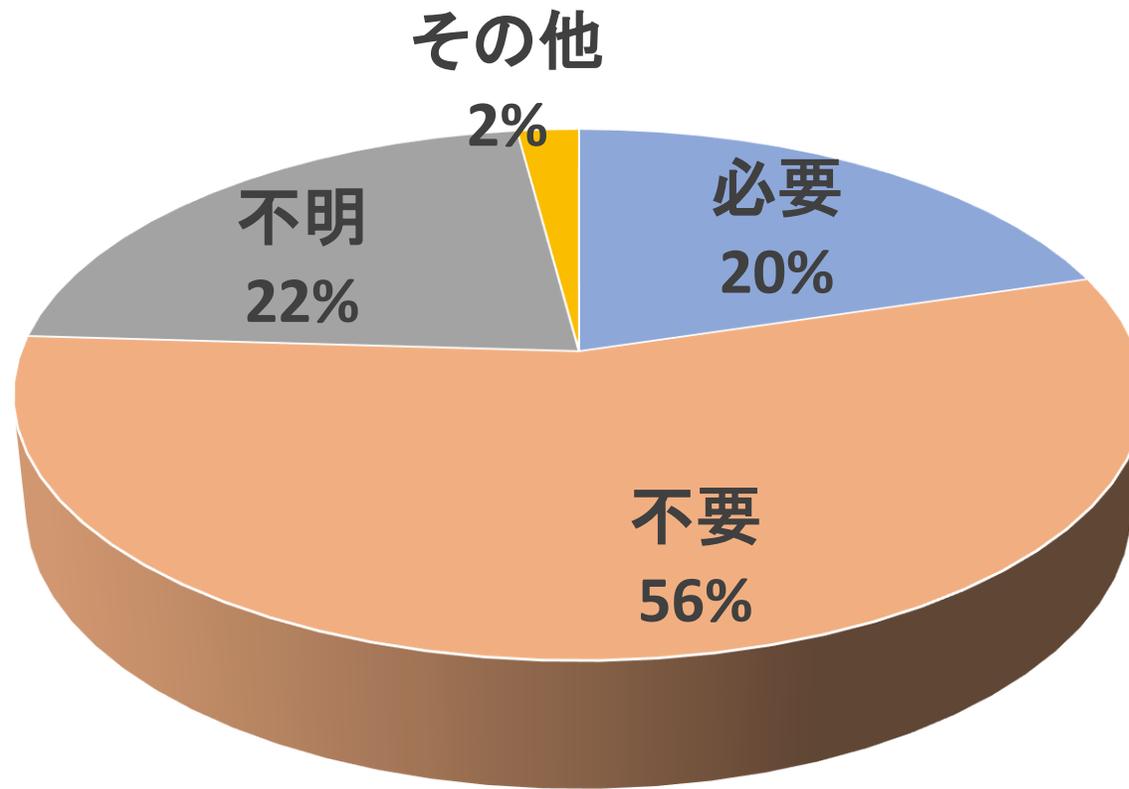


問2-2 最も公平な選出方法は？



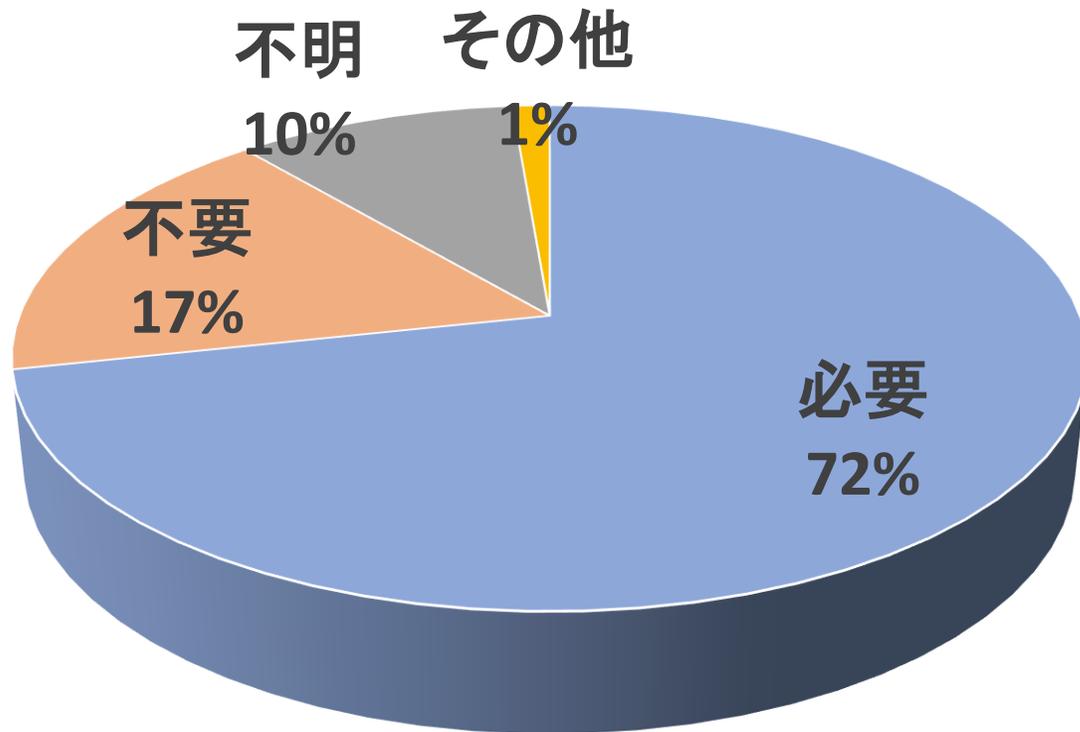
# 自治治会役員の選出方法について

問2-3 役員任期の見直しは必要か？

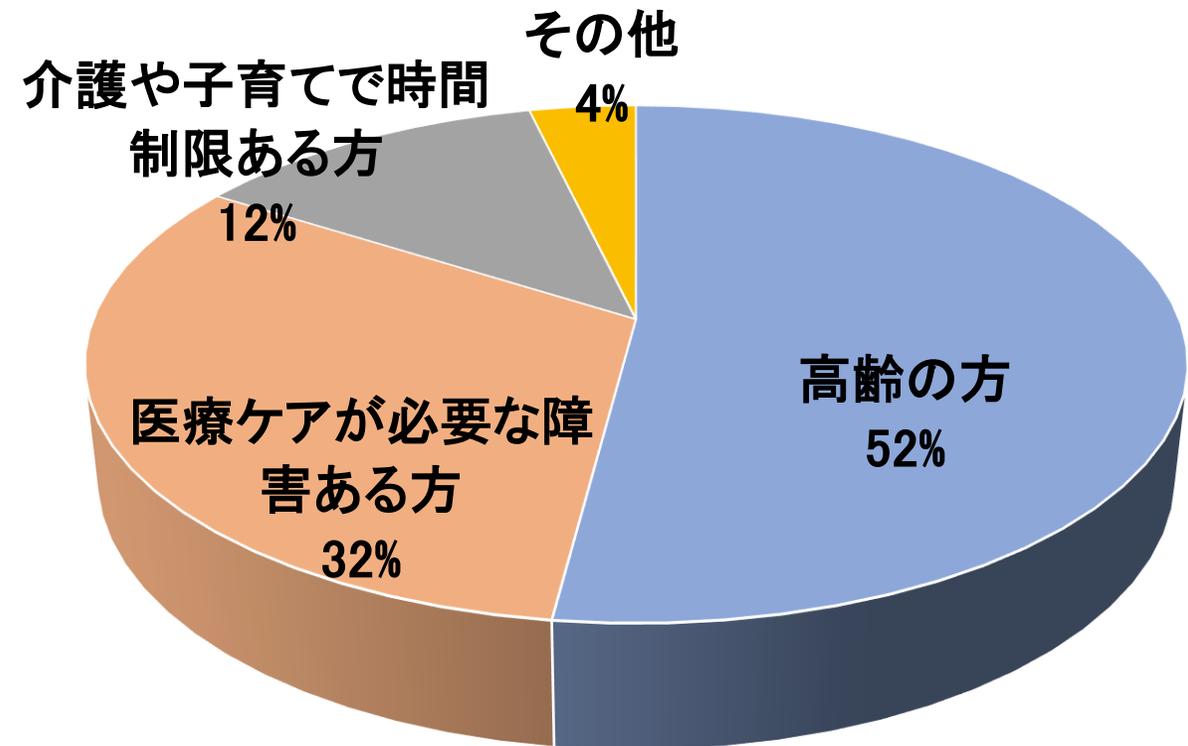


# 役員の免除について

問4-1 役員の免除規定を設けるべきか？

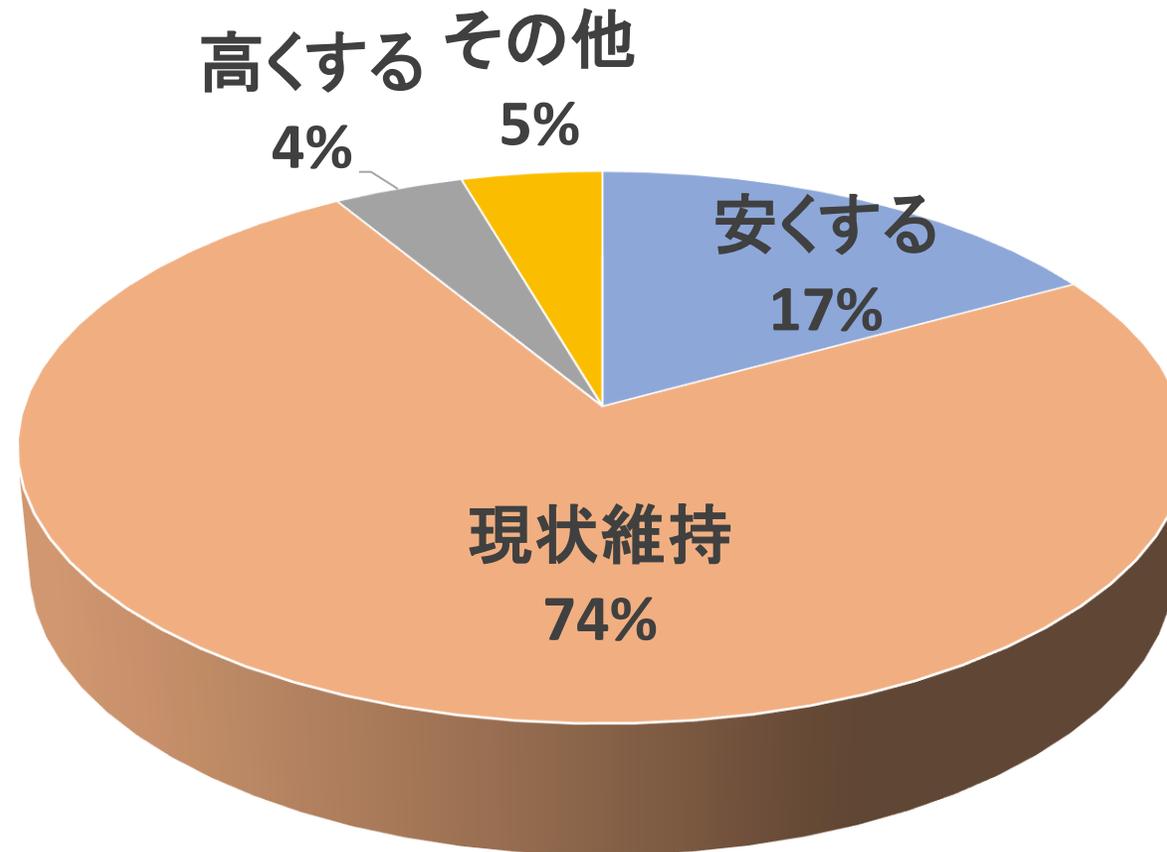


問4-2 免除すべき方は？



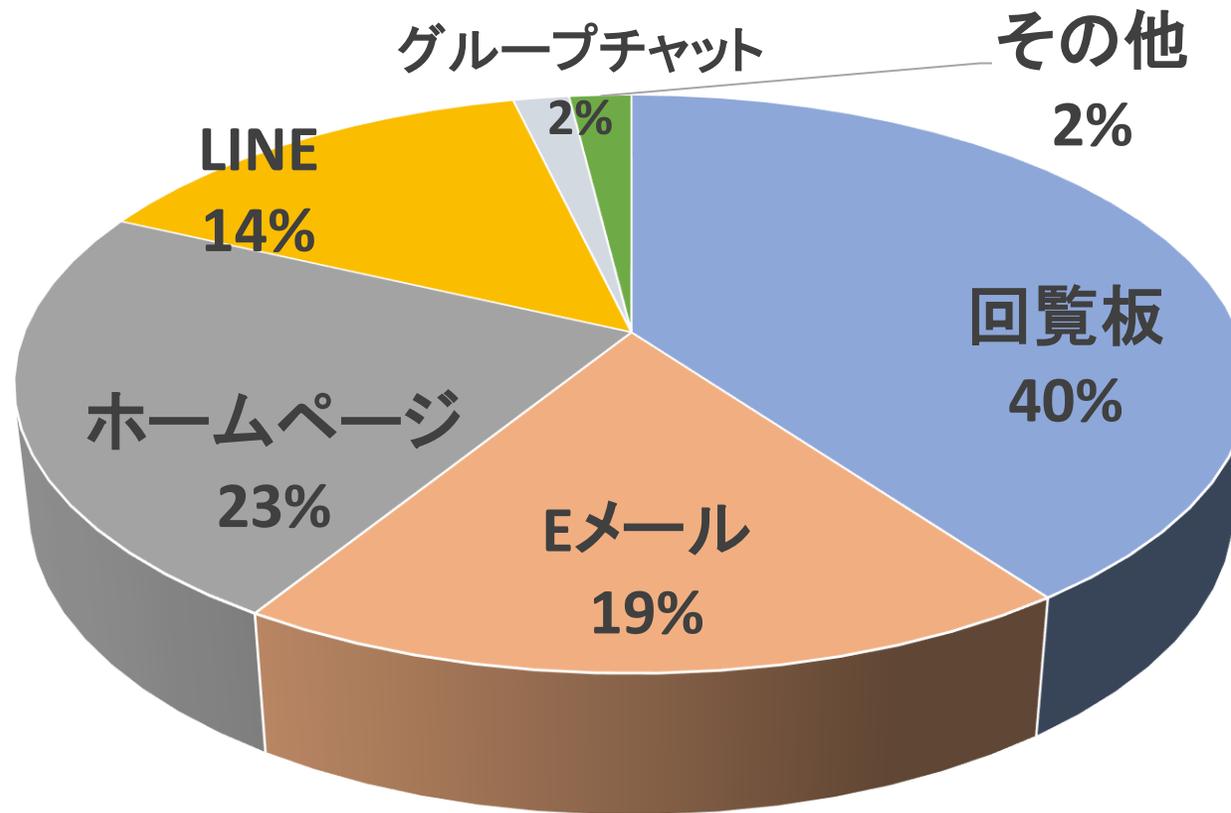
# 自治会費について

問5 自治会6,000円／年の値段をどうすべきか？



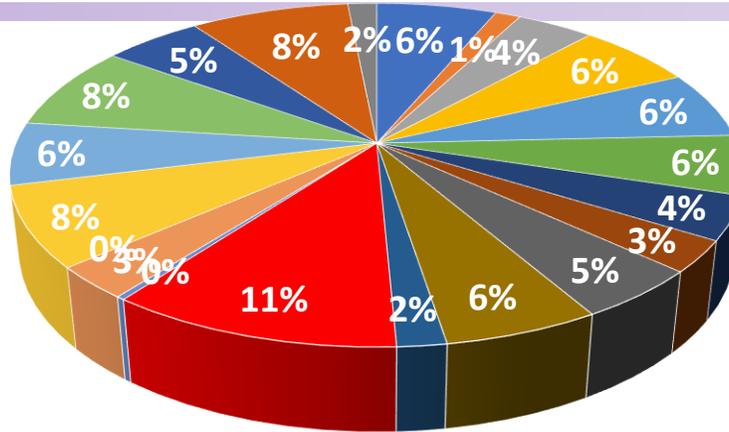
# 自治会活動の見える化

問6 回覧方法について便利だと思う手段は？



# 自治会活動

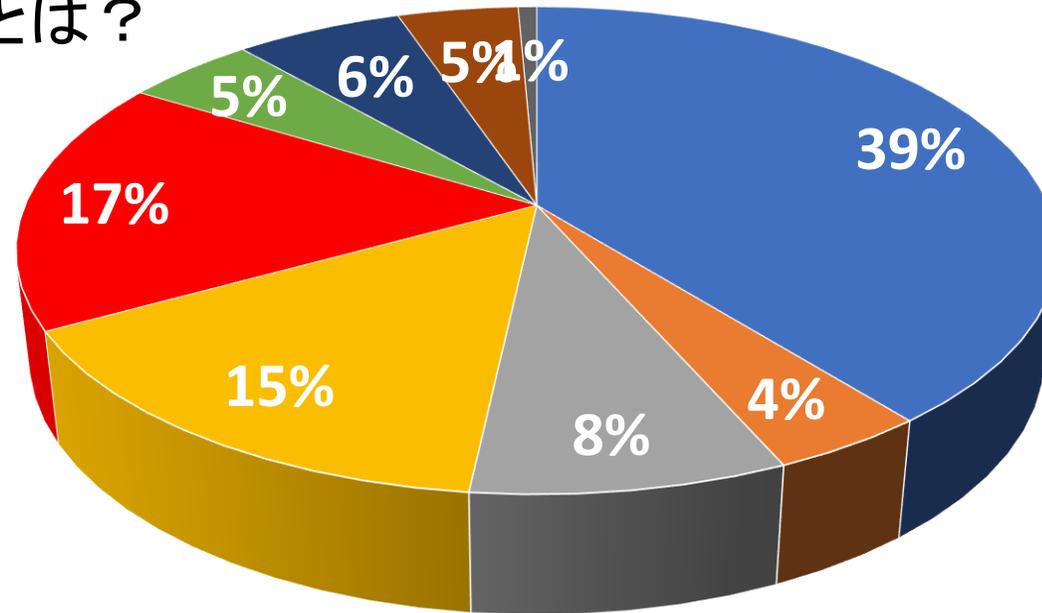
問7 地域の絆やコミュニティ、生活環境を守るために自治会に取り組んで欲しい行事・事業は？



- お祭りなどのイベント
- 生涯学習
- 料理教室
- 健康作りイベント
- 子供の居場所作り
- 環境エコ活動
- 国際交流活動
- 気楽に参加できる雰囲気づくり
- 清掃活動
- ペット飼育マナーの啓発
- その他
- 文化祭
- 映画会
- 健康体操教室
- 子供向けの講座・教室
- 高齢者のサロン
- 資源回収
- 活動に関する情報共有
- 自治会活動の見直しや負担軽減
- 空き家対策
- 家庭ごみ出しルールの啓発

# 自治会活動

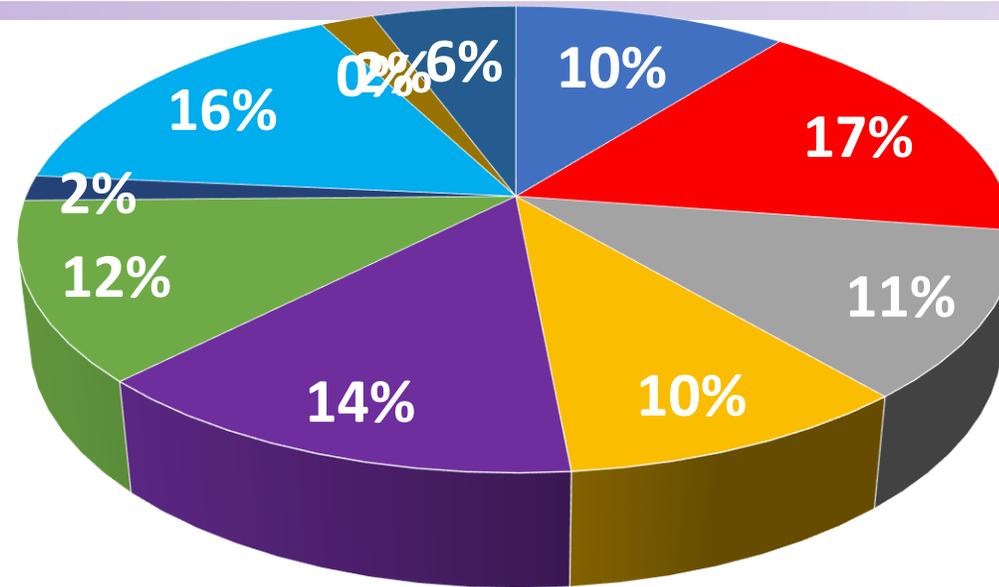
問 8 自治会に期待することは？



- 地域課題の解決や取り組み
- イベントなどによる賑わい作り
- 広報誌など地域の情報発信
- 地域の意見をまとめること
- その他
- 街作り活動のリーダーシップ
- 地域の連帯や一体感を作ること
- 地域への愛情作りと誇り作り
- 自由に意見が言える雰囲気作り

# 自治会活動

問9 自治会にどのような活動があれば参加したいか？

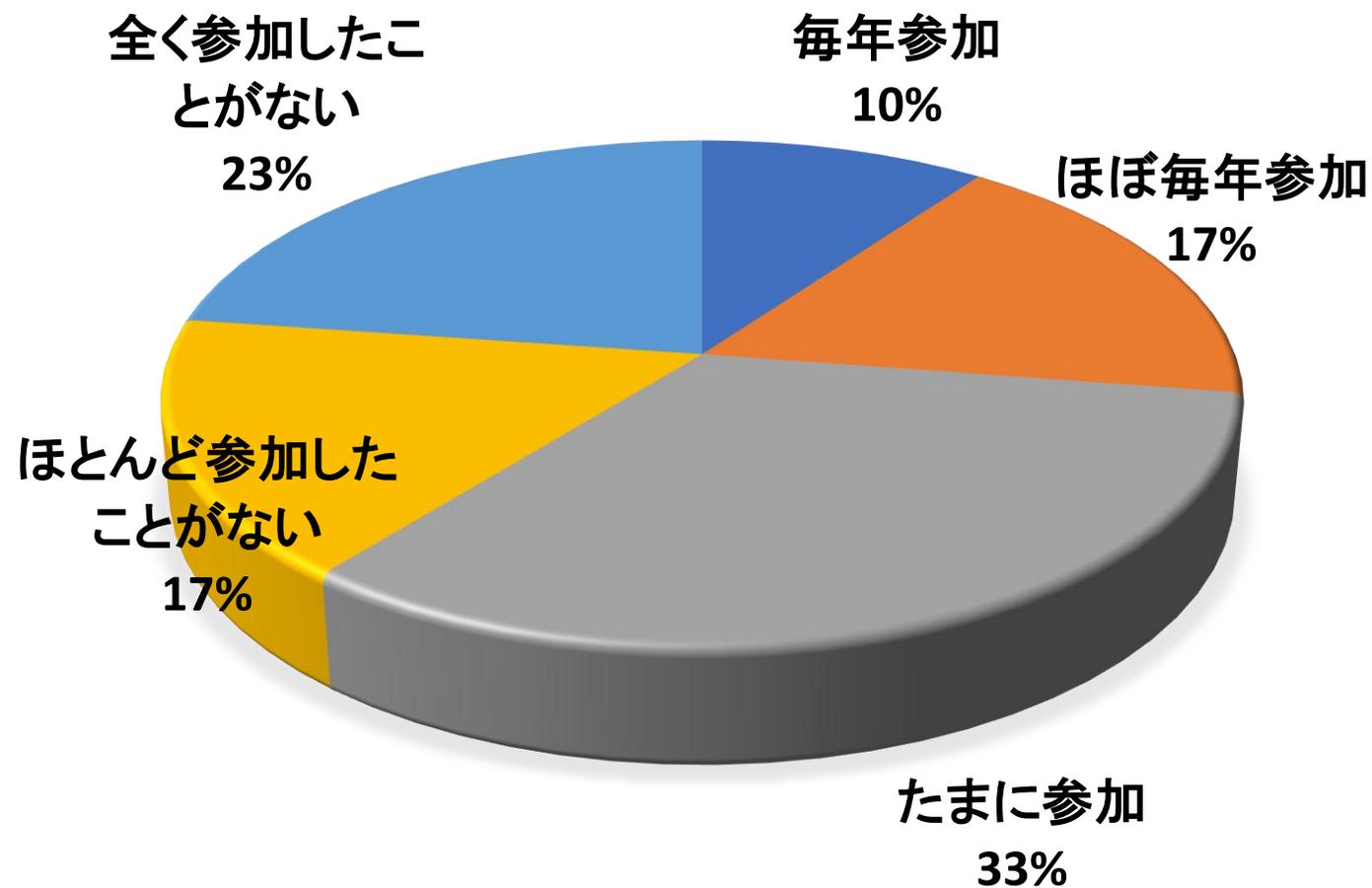


- 企画運営会議
- 子供向け活動
- 防犯パトロール
- 自治会の情報発信(HP作成・運営・管理)
- 自治会事務所のネットワーキング化
- ふれあい防災広場イベントの企画・運営
- 高齢者向け活動
- スポーツレクリエーション
- 防災活動
- 公園の清掃
- 自治会のクラウド会計システム構築

# ふれあい・防災ひろば

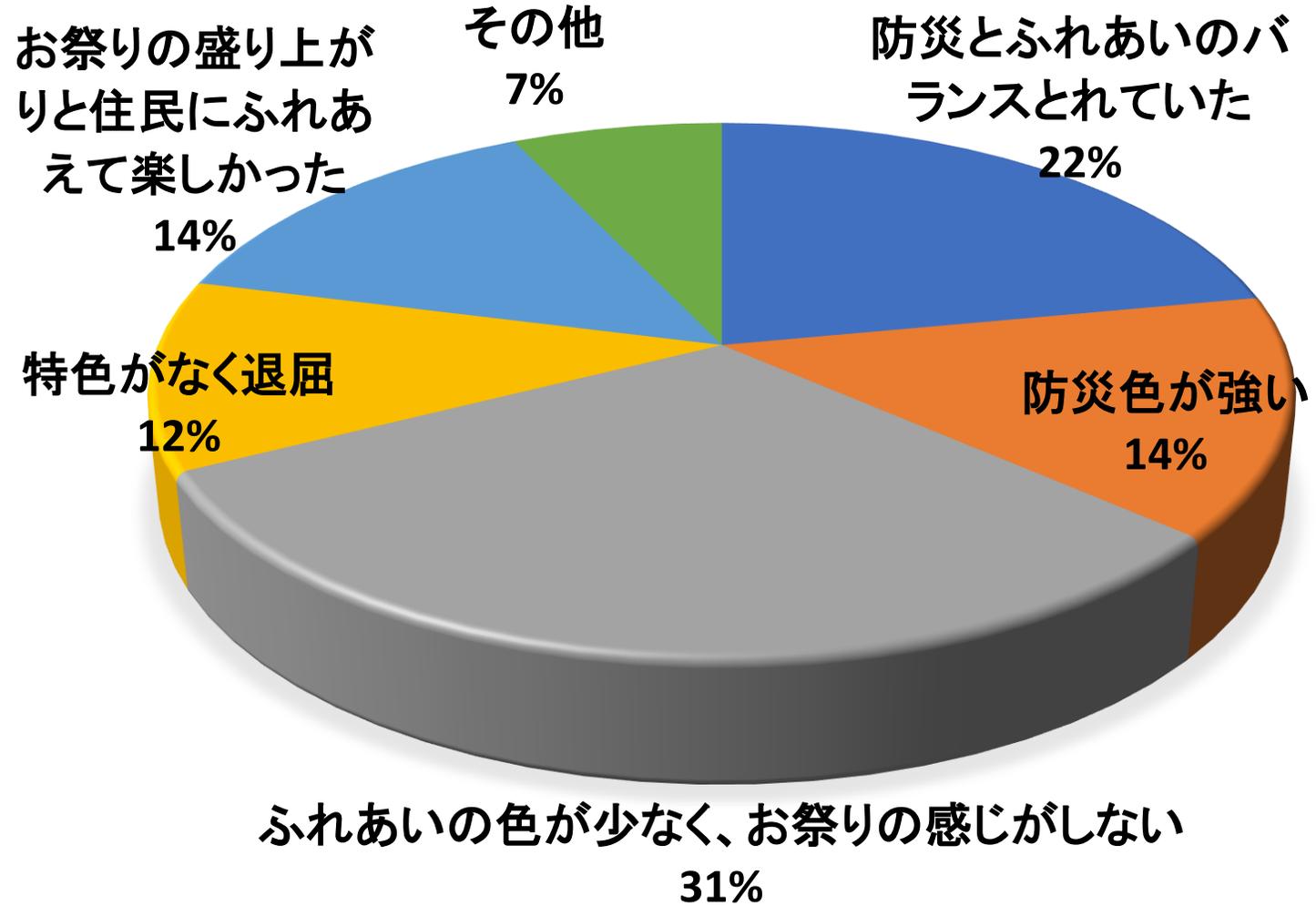
問10-1

ふれあい防災広場に  
参加したことがありますか？

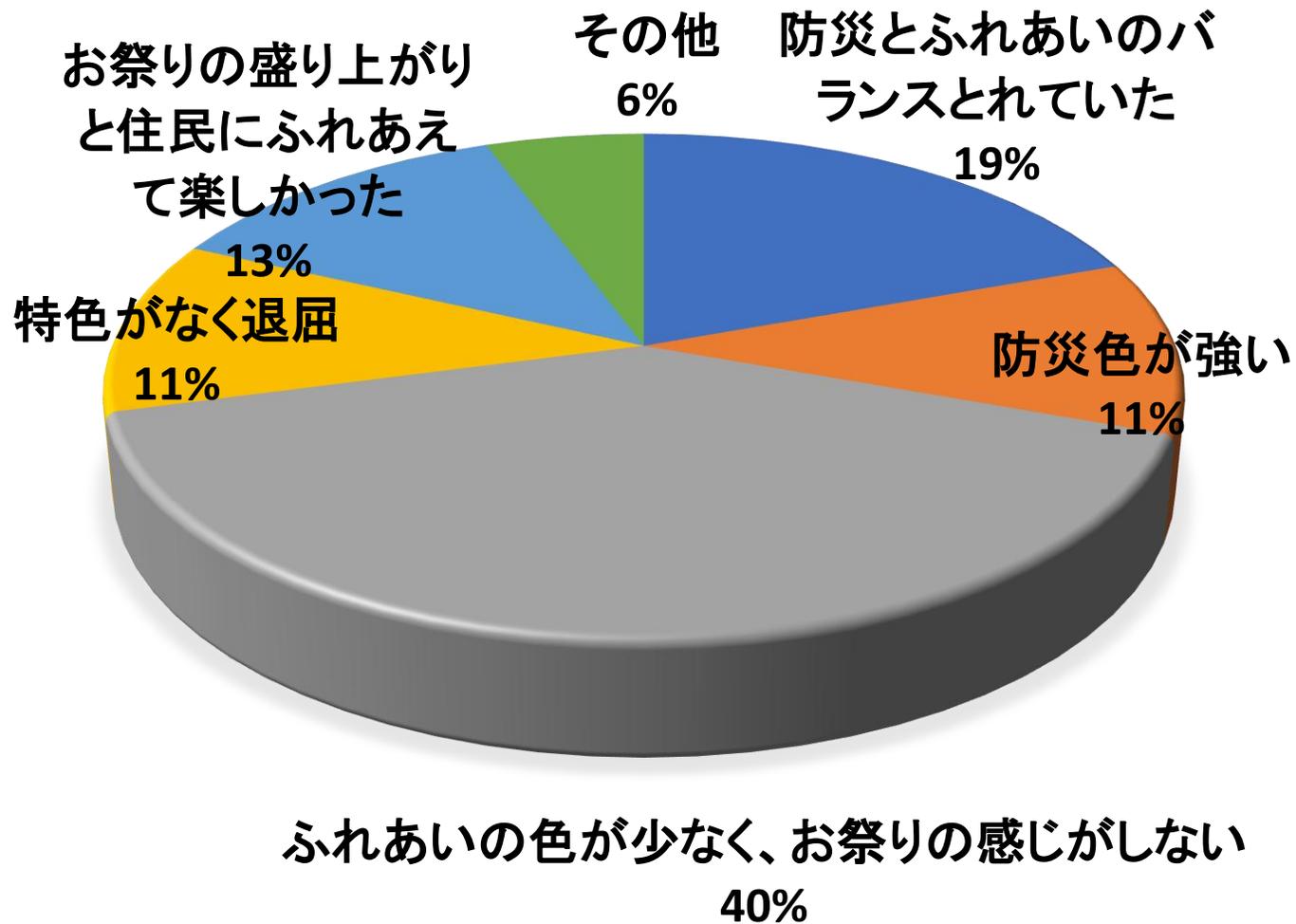


# ふれあい・防災ひろば

問10-2  
ふれあい防災広場  
をどう思うか？

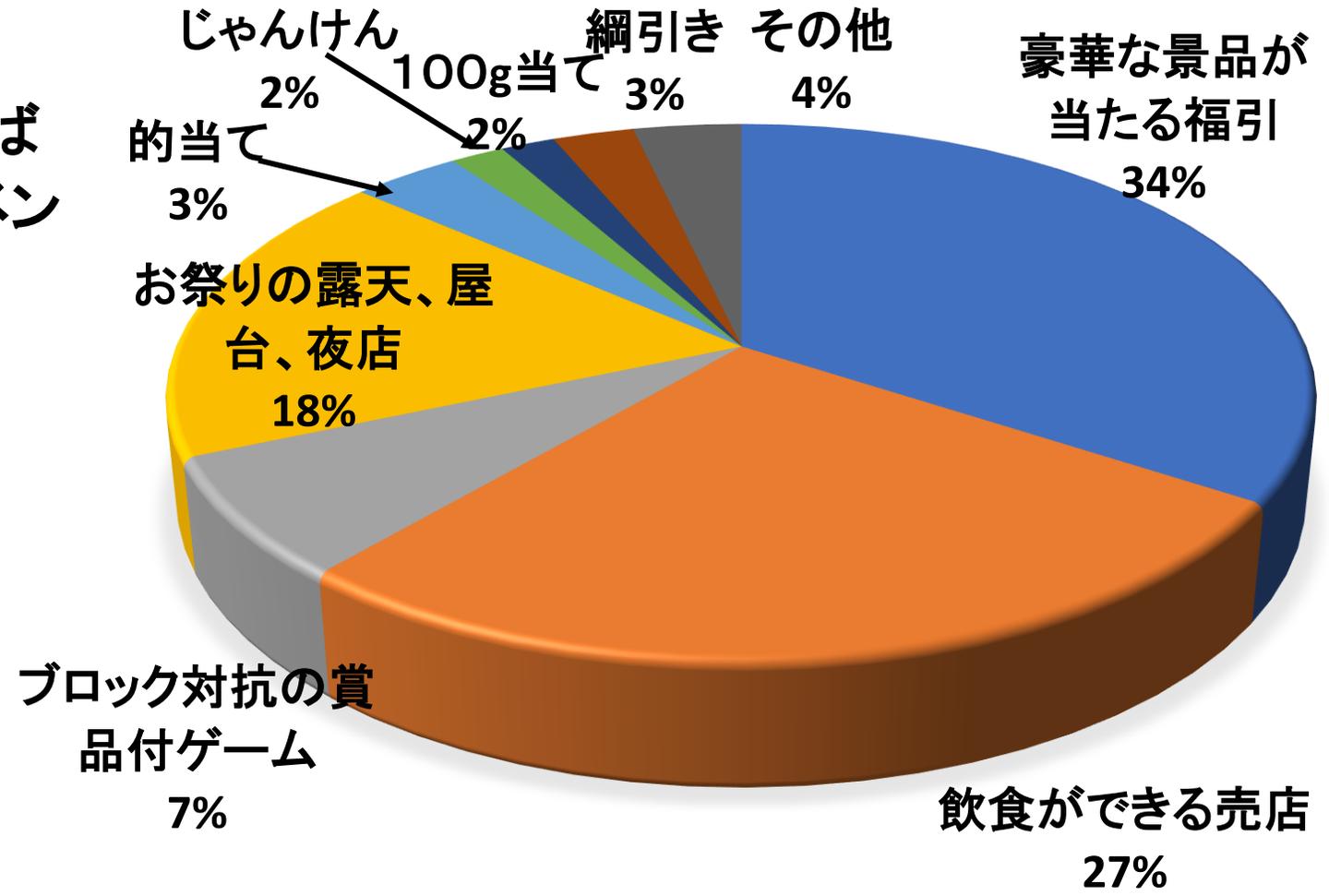


# 毎年、ほぼ毎年参加者(88人)の印象



# ふれあい・防災広場

質問10-3  
どのようにすれば  
もっと楽しいイベントになるか？



# ふれあい防災広場のその他の意見1

	意見
1	一部の参加者だけ。防災を主軸とするイベント。フリーマーケットなど。
2	子供大人も参加できる遊びゲームがあってもいい
3	くじ引き大会が主になっている。
4	役員ブロック委員に負担のないイベントにして欲しい。
5	福引イベントはやめるべき
6	キッチンカー
7	参加者全員に景品当たるように
8	肩の力を抜いた、リラックスできる雰囲気イベントにして欲しい。優等生的に感じる
9	一体感がない
10	防災グッズの紹介など。毎年子供にポスターを描かせて内容がかわらない。

# ふれあい防災広場のその他の意見2

	意見
11	少額でも幅広く
12	子供が小さい頃は参加していた。
13	ふれあい防災ひろばは不必要
14	一部の人のみ盛り上がっている。
15	ビンゴ
16	不要
17	やらずに資金を次の世代に
18	今のままで十分
19	カラオケ
20	楽しくない。

# ふれあい防災広場のその他の意見2

	意見
21	参加できなかった人にも何らかのプレゼント
22	ビンゴ
23	盆踊り
24	皆んなで楽しめるもの
25	PR不足
26	ふれあい防災広場とはなにかわからない
27	防災グッズを定期的に配って欲しい
28	必要でもない。なくてもよい。
29	豪華な景品はなくていい、花いっぱい運動
30	毎年しょぼくなっている。やらなくてもいいのでは？

# ふれあい防災広場のその他の意見3

	意見
31	安いビール目当ての方が多くお祭りの感じがしなかった
32	防災だけでいい
33	キッチンカー
34	抽選会復活して欲しい

# まとめ(自治会員の属性)

1. ユーカリ殖産自治会員の56%は70歳以上であり、居住年数40年～50年以上の方が50%近くいることから、自治会地区開発当初(50年前)に外部から移り住んでいる方が半数を占める。
2. ユーカリ殖産自治会員の30%が60歳～50歳であり、居住年数30年～10年程度の方と推定する。この世代には、自治会地区開発当初に移り住んだ方達の第2世代の方が同居されているケースも含まれていると推定される。
3. ユーカリ殖産自治会員の14%が40歳～30歳であり、居住年数10年未満の方であり、最近転入されてきた方と推定される。
4. 以上より、ユーカリ殖産自治会会員の構成は、自治会地区開発当初からの住居者が大勢であるが、最近新しい若い世代の転入者も増えていると推定される。

# まとめ（自治会役員の出選方法、任期について）

1. 現行の役員の出選方法は輪番制であるが、半数以上の方が見直しを不要とされている。
2. 出選方法の見直しが必要とされている方が22%と一定の割合で存在し、最も公平な出選方法の選挙に見直すべきと考えている。
3. 選挙にすべき理由は、特に会長は責任があるので輪番ではなく、自薦が適切という意見がある。
4. 現行の自治会役員任期は幹事2年、ブロック委員半年であるが、半数以上の方が任期の見直しは不要とされている。一方必要と考えている方が20%存在する。  
任期見直しの意見では、幹事は負担が大きいため、任期は1年でよいとされている方が多かった。一方、最初の1年は先輩から仕事を教えてもらい、仕事を覚え、次の1年で、独り立ちして、次の人に仕事を引き継ぐので2年ないと持続可能性が保てないという意見が多い。

# まとめ(役員の免除)

1. ユーカリ殖産自治会会員の72%が役員の免除規定を設けるべきと回答している。
2. 免除すべき対象は、高齢者52%、医療ケアが必要な方32%、介護・子育てで時間制限がある方12%。
3. 免除すべき高齢者の年齢に関しては、ほとんどの方が80歳以上と回答している。

現行、輪番制により、ブロック毎に次の幹事を選定して頂いているが、事情により幹事ができない方の場合は、ブロック毎の運用によって次の方に幹事を引き受けていただいている。

自治会規定の第10条(役員等の推薦及び選出)には、免除規定が記載されていない。高齢者(80歳以上)、医療ケア必要者などの免除規定を明確化する必要がある。

# まとめ(自治会費)

1. ユーカリ殖産自治会員の74%が自治会費6,000円/年の現状維持と回答している。  
主な理由は、物価高で経費がかかるので必要との意見や、会費に見合った事業活動を期待するなどの意見が散見される。
2. ユーカリ殖産自治会員の17%が自治会費を安くすべきと回答している。  
主な理由は、毎年使わずに繰越金として次年度の収入に計上されている累積金額が7,000,000円以上あるとの意見や、他の自治会に比べて高いのでは?などの意見が散見される。
3. 八千代市の「令和6年度自治会活動・自治会運営に関する調査結果」がネットで公開されているので、自治会費について調べてみた。結果を以下に示す。  
八千代市の167つの自治会の会費調査結果では、3,000円台/年が30%と最も多く、6,000円以上/年が20%(10,000円以上/年が6%も含む)である。  
ユーカリ殖産自治会の会費が他の自治会に比べて特段高いとは思われないが、自治会活動に使われない予算も多くあり、会費に見合った、自治会行事・事業の充実を図り、自治会の満足度を高めることが必要と考える。

# まとめ（自治会活動の見える化）

1. 現状、自治会活動の報告及び連絡事項はブロック毎に回覧板を回している。今回、回覧方法について、便利だと思える手段（デジタルツール）について質問した結果、現状の回覧板が良いと答えた方が40%、回覧板の他に、自治会のホームページを開設して、必要な情報を公開して欲しいと答えた方が23%、Eメールが19%、LINEが14%であった。

Eメールの活用については、既に自治会のメールアドレス([yukari.shokusan@twatwa.or.jp](mailto:yukari.shokusan@twatwa.or.jp))を回覧で公開してるので、自治会員から自治会へのご意見や、連絡事項のお知らせなどにご利用いただきたい。

従来の回覧板を回すことと並行して、自治会のホームページを開設し、必要な情報（総会資料、毎月の回覧板、行事・事業の年間スケジュール、ふれあい防災広場などの行事の案内、ポスター、自治会員幹事、ブロック委員の名簿など）を全自治会員に見える化して、自治会活動の情報の共有化を図ることが必要と考える。→HP開設・運営の専門委員会の設置  
（専門委員：大橋 圭二）

# まとめ（自治会会活動）

1. 自治会に取り組んで欲しい行事・事業に関して、ユーカー殖産自治会員の11%が資源回収、8%が自治会活動の見直しや負担軽減、同じく8%が空き家対策、同じく8%が家庭ごみ出しルールの啓発などであった。
2. 資源回収事業に関しては毎年廃品回収を実施しており、昨年は13万円の雑収入を得ている。自治会員の地球資源のリサイクル活用や省エネ化に対する意識の高さを確認できた。
3. 自治会に期待することは？の質問に対して、39%が地域課題の解決や取組み、17%が広報誌など地域の情報発信、15%が地域の連帯や一体感を作ることへの回答である。
4. 自治会の参加したい活動は？の質問に対して、17%が高齢者向け活動、16%が公園の清掃・美化活動、14%が防犯パトロール、12%が防災活動であった。自治会員の高齢化に伴い、高齢者向け活動に一番興味があるのは、当然である。今後の行事・事業計画に検討していきたい。公園の清掃・美化活動への関心が高いのは、意外であった。公園をお子さんは勿論、高齢者の方々の憩いの場とするために、公園に花壇を作って四季の花を植えることや、遊具のメンテナンス、綺麗な色に塗装することにより、公園を美化することが、心のやすらぎになるとのご意見も頂きたい。今後の自治会の行事・事業で検討していきたい。

既に、防犯パトロールに関してはボランティアの方に毎週実施して頂いているので、希望者の方にボランティアに参加して頂くようにお声がけする。防災活動に関しては防災部会で自治会館避難訓練を2回／年、大規模災害対処訓練を1回／年、実施しているので、希望者が参加できるようにお声がけする。

# まとめ(ふれあい・防災ひろば)

1. 「ふれあい防災ひろば」に全く、ほぼ参加したことがない人が40%もいて、毎年、ほぼ毎年参加している人(27%)を大きく上回っている。
2. 参加の常連さんと、一見さんに関わらず、防災とふれあいのバランスが良く、お祭りの盛り上がりと住民とのふれあいで楽しかったと感じる人が30%ほどいる一方、防災色が強く、ふれあいが少なくお祭りの感じがせず、退屈だったと思う人が50%以上もいる。
3. 福引、飲食の売店、露店、ブロック対抗ゲームなどお祭りの要素を取り入れたイベントで楽しみたいと思っている人が85%以上もいる。

# 今年の「ふれあい防災ひろば」にフィードバックしたこと

1. 今年目標値は参加者を400人と設定した(第一回実行委員会)。  
(一昨年300人、昨年140人)
2. 上記目標を達成するために、ほぼ、全く参加したことがない  
40%(130人)の人の取り込みが課題。
3. 参加したいと思わせる、お祭りの要素の取り入れ(福引の復活、飲食店、ブロック  
対抗ゲーム、リラックスした雰囲気作りなど)を検討した。
4. 参加した人にブランド米1合進呈、リラックスして飲食ができるテーブル、  
椅子の配置、ブロック対抗ダーツトーナメントなどのアイデア。
5. 事前のPR活動の重要性を認識し、PR班の設置。